

北陸新幹線建設促進大会が開催されました。

5月12日(月)に東京都内において、北陸新幹線建設促進同盟会(北陸新幹線沿線の10都府県で構成・会長は杉本福井県知事)主催の建設促進大会が開催されました。

沿線の国会議員や知事など約330人の参加のもと開催され、杉本市長、藤田市議会議長が出席しました。

大会では、会長の杉本福井県知事があいさつで「我が国の将来と次の世代の発展のため、決して妥協してはいけない国家プロジェクトである。沿線の府県こそ一致団結して、難局を乗り越えるための国家プロジェクトの推進のために全力を挙げるべき」と話しました。

与党整備委員会委員長・西田参議院議員をはじめ、沿線自治体関係者からも小浜・京都ルートでの整備が重要であるとの声が相次ぎました。

また、石川県内から出ている米原ルート再考の声については、滋賀県知事でもある三日月関西広域連合組合長から、「滋賀県は望んでも求めてもない」と明確に否定する発言がありました。

これに対し、馳石川県知事も、石川県内の主張を紹介しながらも、京都府が抱える課題を一日も早く解決し、認可・着工できるよう環境整備をお願いしたいと要請し、敦賀・新大阪間の早期着工を求める「決議」に賛同され、沿線自治体全体で早期実現に向けた結束を確認しました。

